

## 幸福実現党の新しい国づくり

- 1 努力するほど豊かになれる  
個人や企業の努力が報われる社会をつくりまします。
- 2 自分の国は自分で守る  
日米同盟を強化し、隣国の脅威から国民を守ります。
- 3 塾に頼らず学力を上げる  
公立学校を「経営再建」し、家庭の教育費を軽減します。
- 4 家族の絆を取り戻す  
家庭の価値を見直し、家族の助け合いを支援します。
- 5 宗教を尊敬する国に  
世界のリーダーとなるために、国家の品格を取り戻します。



幸福実現党 党首  
つき 秀学  
しゅうがく

1971年大阪府生まれ。東京大学法学部第3類（政治コース）を卒業後、宗教法人幸福の科学に入局。財務局長、専務理事などを歴任。妻と3男の5人家族。趣味は読書と散歩。

メールマガジン HRP ニュースファイル 幸福実現党が混迷する世相に鋭く切り込みます。ぜひ登録ください。  
◆PCからは→ [p-mail@hrp-m.jp](mailto:p-mail@hrp-m.jp) に空メールを送信 ◆携帯電話からは→ **0032-07-0777** にダイヤル

政治に、新しい力を。 **幸福実現党**

<http://www.hr-party.jp> 発行所 幸福実現党本部 〒104-0061 東京都中央区銀座 2-2-19 電話 03-3535-3777 ©幸福実現党本部 2012年

近未来予言映画2作品…2012年、全国一斉ロードショー!

それが、間違った未来ならば、ぼくらは変えなければ…

ぼくらは戦う、心のチカラで。

この地球に、愛を。

2012年6月全国公開!  
[www.fj2012.com](http://www.fj2012.com)

2012年10月全国公開!  
[www.shinpi2012.com](http://www.shinpi2012.com)

製作総指揮 大川隆法

©2012 PH Press  
配給: 日活 NIKKATSU

# 消費税増税に なるなら だまされな

幸福実現  
News

第30号  
2012年3月7日

2015年以降  
年間 **31万円**が  
とんでいく!?

# 絵空事にすぎない 社会保障と税の一体改革



**野** 田佳彦政権は「社会保障と税の一体改革」の名のもとに、2014年4月に8%、15年10月に10%と段階的に消費税率を引き上げようとしています。

「社会保障を充実させるには増税もやむなし」と思われるかもしれませんが。しかし、消費税率が上がれば消費が冷え込んで景気が悪くなり、かえって税収は落ち込んでしまいます。増税がもたらすのは、日本経済の沈没です。

そもそも現行の日本の社会保障、特に年金制度を維持することは、もはや不可能と見られます。かつては多くの現役世代で65歳以上の高齢者1人を支える「胴上げ型」だったのが、近年、3人で支える「騎馬戦型」となり、2050年代には「肩車型」の社会の到来が予想されています。少子高齢化の進展に伴い、年金の支え手が急速に減っているのです。

今後増大する社会保障費をすべて消費税でまかなおうとすれば、今世紀半ば頃には税率が60%に及ぶとの予測もあります。「社会保障と税の一体改革」は絵空事と言わざるを得ません。



民間シンクタンクの試算では、復興増税に加え、消費税率10%への引き上げや子ども手当の見直しなどにより、夫婦のどちらかが働き、子どもが2人いる年収500万円の世帯では、手取り収入が年間で31万円も減少するとされている。およそ1カ月分の収入が減る計算だ。

**幸** 福実現党はかねてより自助努力の精神を基軸とする社会保障制度を訴えており、最低限のセーフティネットを整備・維持しつつ、家族の助け合いを基本とするあり方に改めるべきだと考えています。

平均寿命の伸びに応じて働ける期間を伸ばす努力をさまざまに行い、「75歳定年制社会」の構築を前提に、年金制度をリストラしなくてはなりません。若い世代向けには、積立方式による年金制度の導入を検討してもよいでしょう。

## 自助努力を基軸とする 新たな制度設計を